

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4 (3)	会議では地域の独居高齢者の今後が話題となっている。地域包括支援センターや民生委員と連携し、地域の認知症高齢者に対する中核的な存在として機能されたい	高齢者介護、認知症について 地域内で何かあれば聞いてみようと思ってもらえるような存在になる	地域に1つしかないグループホームなのにも関わらず、訪問してくださった方が「知らなかった」と言われることがあり、知名度をあげるということでも訪問してもいいということを知ってもらうこと、そのためにも今後も地域の行事などに参加していく	12ヶ月
2	36 (14)	村全体が運命共同体のような環境であり、利用者と職員とのなじみの関係が個人情報やプライバシーの保護を損ねかねない。権利擁護に関する十分な職員教育を願いたい	職業上知り得たことを外部に漏らしてしまう可能性があることを常に意識することができるようになる	小さな村の中で誰が入居しているのかなどは漏らさないうちにもすでに筒抜けであるが、病気の状態などをわざわざ話したりすることは業務上絶対にやってはいけない行為であることなど具体的に教育を行う。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。